配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和4年（2022年）2月3日

はじめます、未来のまちとひとのためアーカイブづくり

～附属博物館が地域のデジタルアーカイブ構築に着手。キックオフフォーラム開催～

【本件のポイント】

- 山形大学附属博物館は、貴重な地域資源を発見・保全し、市民とともに活用できる「デジタルアーカイブ」の構築に着手する。
- より良いアーカイブにするために、大学と街の歴史を振り返るとともに、現在とアフターコロナについて考えるフォーラムを開催する。
- フォーラムの開催は、2019年2月5日に山形大学附属博物館が交流協定を締結したヨーロッパ最古の大学・ボローニャ大学の博物館システム総責任者をはじめ、さまざまな方々から意見を寄せていただくことが目的。

【概要】

山形大学附属博物館は、貴重な地域資源を発見・保全し、市民とともに活用できる「デジタルアーカイブ」の構築に着手します。より良いアーカイブにするために、山形大学附属博物館と交流協定を締結しているヨーロッパ最古の大学・ボローニャ大学の附属博物館をオンラインでつなぎ、大学博物館と街・地域の関わりや取り組みについて考えるキックオフフォーラムを開催します。大学が街とともに発展してきた経緯を振り返りながら、大学博物館が地域のデジタルアーカイブを構築する意義について考えるフォーラムです。フォーラムには、ボローニャ大学の博物館システム総責任者をお招きし講演いただくほか、本学の小幡圭祐准教授らが登壇します。

【イベント概要】

日時／2022 年 2 月 10 日（木）　11 日（金・祝）　両日 18:00～20:00
会場／オンライン会議システム Zoom ミーティング（交流拠点施設「N-GATE」レンタルスペースより配信）
参加費／無料　　定員／300 名（要事前申込）
プログラム／
2月10日（木）　第1部
「世界とともに考えるパンデミック後の大学博物館の未来」
　ロベルト・バルツァーニ ボローニャ大学教授・博物館システム総責任者
2月11日（金・祝）　第2部
「アーカイブは未来のために　なぜ山形大学附属博物館が地域の記憶をアーカイブするのか?」
　小幡圭祐 山形大学准教授（人文社会科学部）
※両日とも、講演 40 分、質疑応答 60 分を予定しています。
※日本語講演はイタリア語字幕付き、イタリア語講演は日本語字幕付き、質疑応答はリアルタイムで通訳有

【申込方法】

2 月 9 日（水）までに、QR コードまたは URL からお申込みください。
https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=Mk4z8DGe

お問い合わせ
学術研究院准教授　佐藤琴（附属博物館）
TEL　023-628-4930　　メール　koto-s@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp
山形大学エクステンションサービス推進本部
TEL　023-628-4779　　メール　yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp